

# any

ars nova yamaguchi

「エニー」

spring 2012  
Apr.—Jun.

80

特集

バンダラコンチャ サードアルバム公演

「HUG!～ステレオサウンズ」

近藤芳正インタビュー



# みんなハグしちゃえ!

バンダラコンチャ  
サードアルバム公演



「ステレオサウンズ」

HORIBE  
KEISUKE

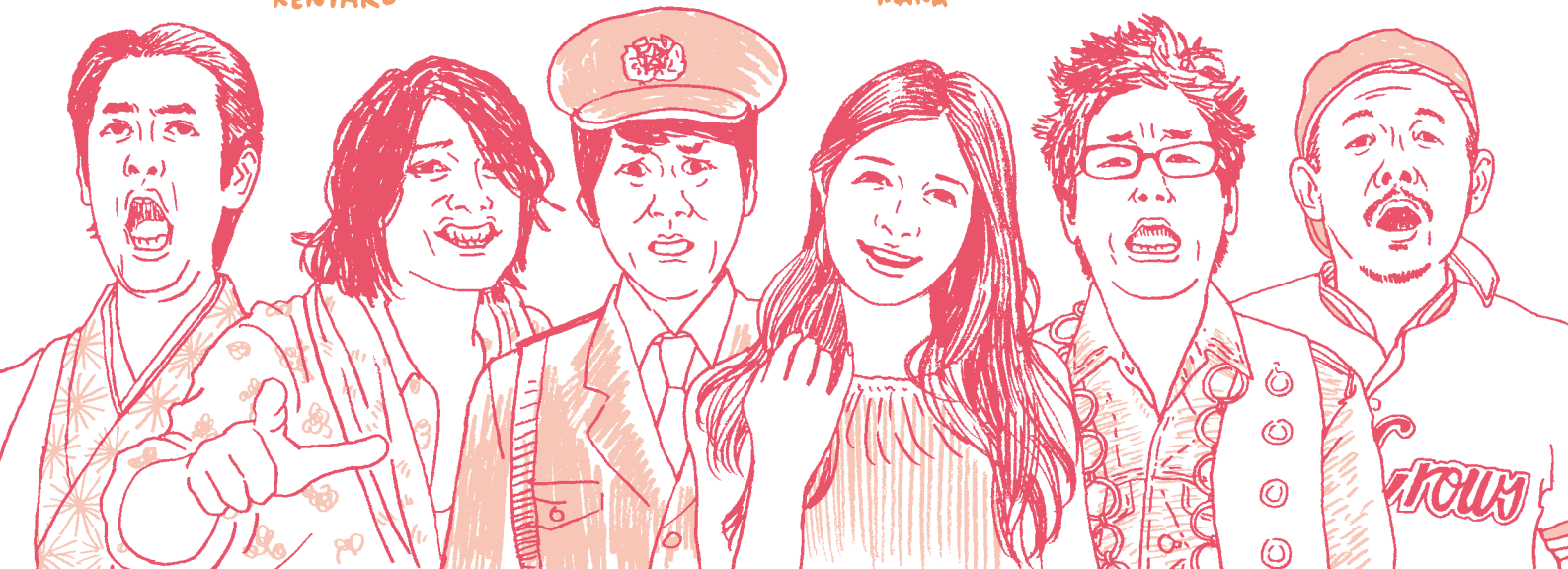
KANESAKI  
KENTARO

NAMBARA  
KIYOTAKA

MIKURA  
MANA

YAMAZAKI  
SHIGENORI

KONDO  
YOSHIMASA



## 特集

- 03 みんな  
ハグしちやえ!  
バンドラコンチャ サードアルバム公演  
「HUG! ~ステレオサウンズ」

## ピックアップイベント

- 08 もっとブラスに恋しよう  
「スーパー・ブラス・ワールド」

## 山口情報芸術センター

YCAM教育普及展覧会「glitchGROUND(グリッチグラウンド)」  
教育普及のこれまでと、これからを紹介していく展覧会

## YCAM パフォーマンスラウンジ#6

高嶺格「いかに考えないか？」  
「ジャパン・シンドローム～山口編」  
中央公園に特設テントが出現、中をのぞいてみると…!?

## 中原中也記念館

企画展I「高橋新吉—ダダイズムと関東大震災」  
中也と高橋新吉、ダダイズム、その関係をつなぐ関東大震災

## 山口市民会館

デビュー35周年記念  
松山千春コンサート・ツアー2012「松山千春の世界」  
松山千春、山口の大地に歌を届ける

AYAKA HIRAHARA Concert Tour 2012～ドキッ!～  
あなたの心に響く歌声を

- 12 any 通信

- ◎アーティストボイス 藤川矢之輔 (役者)
- ◎お先に試写しました 「ピナ・パウシュ 夢の教室」
- ◎いらっしやいませ ラ・レーヌ・デ・カトルセゾン
- ◎GOOD GOODS 中原中也記念館オリジナルグッズ ノート「小年時」
- ◎My Favorite 西村真治 (山口市民会館 職員)

- 14 イベントカレンダー 4～6月  
INFORMATION

特集 バンドラコンチャ サードアルバム公演  
「HUG! ~ステレオサウンズ」  
近藤芳正インタビュー

# みんな ハグしちやえ!

役者として高い演技力と表現力で、  
テレビ、舞台、映画で幅広く活躍する近藤芳正さん。  
一方で自らの手で舞台を作ることにも挑戦を続け、  
2001年からは酒井敏也、山西惇の協力を得て劇団ダンダンブエノを、  
09年からはソロ活動ユニット「バンドラコンチャ」を始動させています。

そして今回「バンドラコンチャ」の3作品目がついに公開、  
山口での上演が決定しました。

しかもいまやお茶の間の顔、ウッチャンナンチャンの  
ナンチャンと組んで作りあげる舞台だと聞き、  
期待に胸を躍らせるany編集部。

去る2月、近藤芳正さんにお会いして今回の作品の見どころや、  
舞台作りに対する熱い思いをお聞きしました。



まずこの公演で気になるのは南原さんの存在ですね。南原さんはどういうきっかけで？

僕がくどきました。ナンチャンは自分で狂言もされているし、ダンスをやったり、色んなことをされていて、非常に懐の深い方なんです。その部分にすごく惹かれて、前から興味を持っていました。

今回、ナンチャンには作もやっていただきます。ナンチャンは狂言を書かれてもいるので、僕が「ぜひナンチャン書いてよ」とお願いして、それで、いくつか早めに書いてもらいました。それを読むと、やっぱり考えていることや、感じていることなど、お互いに似ているところがあるんですね。なので、今回一緒にやってもらうことになって良かったなと思っています。

白黒はっきりさせなくていいんじゃないかと。いろんなことがグレーなほうがいい。

具体的にはお二人でどのような舞台を考えていらっしゃるのでしょうか？

芝居あり、トークあり、コントあり、何でもあり、もしかしたら歌や踊りもあるかもしれない。オムニバス形式になっていて、一本のお芝居ではなく色々なものが混ざり合った舞台です。そこには真面目なお芝居をナンチャンがやるものもあれば、僕がコントをやったり、組み合わせも様々に変えながら、そこにトークも入ったりして、何でもやってしまえという。

表立ってお客さんにこうだよ、と主張する

わけではないんですが、僕とナンチャンの共通のテーマが実はあるんです。モノづくりをするうえでなんとなくうっすら根底に流れているのは、僕は今年50歳になり、ナンチャンも48歳、2人とも50歳に近づいているということで、ひとつ感じるのは、大人になっていくと「白黒はっきりさせなくていいんじゃない?」ということ。いろんなことがグレーなほうがいいんじゃないかと。いまの世の中に対する不満でもあるのですが、何でもはっきりさせたがりで、何かを排除する…、そういうことってどうなんだろうと。そうすることで物事を整理しやすくなるのですが、はたしてそれでいいのだろうか。僕は子どもの頃は白黒はっきりさせない大人なんて何なんだろうと思ってたし不満を持っていたけど、大人になると「グレーが一番

いい色なんだな」と気づいた。そこがナンチャンと僕とすごく共通している部分で、物事には善も悪もないということもあるんですね。もちろんそんなことはお客さんに考えさせるためにお芝居を作るわけではないんですけど。

タイトルの「HUG(ハグ)」には、排除せずに何でも抱えてしまえということもあります。

タイトルの「HUG!」にもそういう意味が込められている？

そういうところも含まれています。排除せずに何でも抱えてしまえという。才能ある

人とかない人、仕事できる人、できない人とか、すぐに分けたがるじゃないですか、人間って。でも本当はそうじゃないんじゃないの？

ほかの出演者はどのように選ばれたのですか？

今回はナンチャンと話し合っただけで決まりました。堀部さんはナンチャンとテレビのバラエティ番組「ウリナリ」で一緒だったこともあって、ナンチャンからの紹介です。堀部さんは作家としての才能もある方で、今回一つ作を書いてもらっています。兼崎君は今回の制作担当してくれている方の紹介で、僕らとは毛色の違う、若いイケメンが欲しくて相談しました。割と肉食系の青年で、笑いで言えば真面目な芝居もできる、オールマイティな方ですね。

そして三倉茉莉ちゃんは、僕の方からです。茉莉佳奈ちゃんは2人とも昔から気になっていて何度か共演させてもらったこともあるのですが、2人の性格は全然違うんです。佳奈ちゃんはすごく器用な方。逆に茉莉ちゃんはちょっと不器用なんです。佳奈ちゃんも素敵なんですけど、僕は不器用な茉莉ちゃんにすごく惹かれていて。ちょうど2人がバラバラに仕事をしようと思っていた頃だし、茉莉ちゃんが独り立ちするために、ぜひ新たな魅力をみせてもらいたいなと誘いました。山崎君は一回ドラマで共演したことがあって、俳優さんなのにやたらとバラエティな部分も持っている、コント的なことも器用にこなしているし、トークもおもしろい。この企画に合っていると思って僕が声をかけました。

芝居あり、  
トークあり、  
コントあり、  
何でもあり。  
色んなものが  
混ざり合った舞台です。



近藤芳正 KONDO Yoshimasa  
1961年生まれ。愛知県出身。東京サンシャインボーイズに欠かせぬ客演俳優として脚光を浴び、テレビ、映画、舞台で活躍。2001年より自身がプロデュースする劇団ダンダンエノの主宰を務める。あらゆる役に深く踏み込む演技力と表現力に定評がある。09年からはダンダンエノから派生したソロ活動として「バンダラコンチャ」を始動。舞台プロデューサーとしてダンス、音楽界など他分野の才能を招いたりと多角的で挑戦的な創作を展開している。主な舞台作品には「遍路」(07年、演出・本谷有希子)、「ハゲレット」(06年、演出・山田和也)、「歌わせたい男たち」(05年、再演08年、演出・永井愛)、「笑の大学」(96年、再演98年、演出・山田和也)「90ミニッツ」(11年、作・演出:三谷幸喜)などがある。



バンダラコンチャ サードアルバム公演  
「HUG! ~ステレオサウンズ」

2012年6月16日(土) 19:00開演 (30分前開場)  
会場:山口情報芸術センター スタジオA

[チケット情報] any会員先行予約 4月7日(土)~ / 一般発売 4月14日(土)~  
[料金] 全席指定 前売 一般 5,000円 any会員・特別割引 4,500円 / 当日 5,500円 ※未就学児入場不可  
[作] 南原清隆 + 福島三郎 [演出] 近藤芳正 + 福島三郎  
[音楽] キセル [出演] 南原清隆、三倉茉莉、山崎樹範、兼崎健太郎、堀部圭亮、近藤芳正



【バンダラコンチャ】 近藤芳正のソロユニットとして2009年に活動開始。名称の由来は作者、演出、演者が一体となった「バンド」のようなグループ感を演劇の中に生み出したいとの願いを込め、スペイン語で「バンド」を意味する「バンダ」。そして「貝殻」の意味する「ラコンチャ」を近藤の愛称「コンちゃん」と引掛名付けられた。



### 南原清隆

NAMBARA Kiyotaka  
1965年香川県出身。1985年に内村光良とウッチャンナンチャンを結成。「お笑いスター誕生!!」(日本テレビ系列)出演、以後テレビ、舞台等で活躍を続けている。また、古典芸能(落語や狂言)にも造詣が深い。



### 三倉茉奈

MIKURA Mana  
1986年大阪府出身。NHK連続ドラマ「ふたりっ子」で双子のヒロインの子ども時代を演じ一躍注目を浴びる。以降、多くのドラマ、テレビCMに出演するほか、茉奈佳奈としてCDをリリース。また近年には舞台「オンディーヌを求めて」「有毒少年」に出演するなど、女優としてさらなる活躍を期待される。



### 山崎樹範

YAMASAKI shigenori  
1974年東京都出身。劇団「カムカムミニキーナ」のメンバーとして俳優活動を開始。「マイガール」「東京リトルラブ」「冬のサクラ」「星守る犬」など、多くのドラマや映画に出演。アニメ作品やナレーターとしての出演も多い。



### 兼崎健太郎

KANESAKI Kentaro  
1986年山口県出身。モデルとしてデビュー後、多数のCM、雑誌にて活躍。2006年、ミュージカル「テニスの王子様」にて役者デビュー。その後、ミュージカルや舞台に立て続けに出演。2012年には主演舞台や話題作への出演、また主演映画の公開も控え、ますます活躍の場を広げている。



### 堀部圭亮

HORIBE Keisuke  
1966年東京都出身。86年にお笑いコンビ「パワーズ」で芸能界デビュー。竜泉の名前で構成作家としても活躍。近年の出演作に「孤高のメス」「ちょんまげぶりん」「アントキノイノチ」「ヒミズ」などがある。また映画監督デビューも果たし、マルチな才能を発揮している。



音楽は今回キセルさんに書き下ろして依頼されていますが…。

キセルさんはもともと前作で音楽をお願いしたトクマルシューゴさんのコンサートを聴きに行ったときに一緒に演奏されていて、そのときいいなあと思ったのがきっかけです。今回の企画のテーマである“グレー”という部分にすごく合っていたのでお願いしました。

ジャンルにあてはまらないものを作りたい。

どのような作品に仕上げたいと思っていますか?

ナンチャンがチラシのコメントにも書いているとおり、人というのは何かが出てくるとあるジャンルにはめたがる。だからジャンルにあてはまらないものを作りたいなど。これはナンチャンが書いてくれたネタなんですけど、「あきらめた僕たち」というタイトルで、大人になったとき僕たちは色んなものをあきらめてきたのではないかと話があります。ギターを弾きたかったけどあきらめたり、料理研究家になりたかったけどあきらめたり…。そんなあきらめた過去の自分がどんどん出てくる…とか、例えばそんな話をいま一緒に考えているところです。

今回3作品目ということ「サードアルバム公演」という言い方をされていますが、1つのCDアルバムを作るような感覚なのでしょうか?

そうですね。曲一つ一つは別のものなのに、なんとなく統一のイメージはあって明るい曲もあれば落ち着いた曲もある、それらが1つのアルバムとしておさめられている、本当にそんな感覚です。だから今回の「HUG!」も、お客さんにとってこのネタは気に入ったというものが1つでもあればいいですね。子どもでも楽しめるようなものには思っていますし、一本のストーリーというわけではなく、短いコントもある。老若男女問わず、子どもから大人まで観て楽しんでもらいたいですね。逆に小学生やおじいちゃんおばあちゃんがこれを観たらどんな感想を持つのかな。

自分の中に常に常にあるのは、不器用な人たちの生き方を表現していききたいということ。

プロデューサーの立場でも関わられていますが、プロデュースすること、演出すること、役者として演じることの違いはありますか?

プロデュースはまず全体の枠組みを考えないといけない。劇場やキャストの手配から、作・演出を誰に頼むか、スタッフは誰に、予算はどうするのか、どうやってお客さんを集めるのかなど、芝居が始まる前にたくさんやるのがあって、そのときは基本的には役者じゃなく、プロデューサーとして現場に入ります。稽古場に入る直前の本作りからは演出家として、稽古場でも演出家として入ります。今回は演出を福島三郎さんにも加わってもらったのは、前回は作・演出・主演をすべて一人でこなしたのですが、そのときにやっぱりどなたか本番をビデオじゃなくきちんと見てくれている人が必要だなと感じて。それに今回は僕の出演もけっこう多いと思うし。ただ、稽古場では演出家という目線と役者という目線の両方を混ぜ合わせながら進んでいくと思っています。プロデュース公演でも演出をほかの方に完全にお任せして、役者としてだけ参加するというやり方もあるけど、モノづくりで内容にまで関わりたいという思いがとても強くあります。お任せすると、その方の世界観にどうしてもなってしまう。最初からごちゃごちゃしたままやりたいんですね。僕はここはこうだからと決めて進めていくタイプではなく、割とみんなの意見を聞きながら迷いながら進めていくので。それに人と同じことをやるのが嫌なんです。気質でしょうね。一回はまとめようと



### 近藤さん ぽれ話

山口の思い出といえば?

五重塔ですね。初めて行ったのはダンダンプエノ「バナナがすぎな人」で山口を訪れた時に中井貴一さんと一緒に、そのあと、二兎社「歌わせたい男たち」で来たときも戸田恵子さんや永井愛さんと一緒に見に行きました。五重塔は夜ライトアップされていて、あと帰りは川沿いを蛍が飛んでいて、それすごくきれいでした。

最近ハマっているのは?

ナンチャンの紹介で使い始めた湯たんぽです。あれ温かいですね(笑)。ロフトやハンズに行けば小さくて1000円くらいで買えるんですが、座った時に膝に置いたりすると全然違います。いいですよ。冷え性の女性におすすめです。



最後に読者へメッセージをお願いします。劇団二兎社さんの「歌わせたい男たち」や、劇団ダンダンプエノの「バナナがすぎな人」「砂利」でこれまでに3回来させていただいている山口ですが、非常にいい街で、お客さんの雰囲気もとても良くて、僕にとって大好きな街なので、伺えることを楽しみにしています。それにこの作品の最後の上演地でもあるから、みんな気合いを入れてやると思います。お祭りに参加するような感覚でぜひ観に来てください。一本のお芝居ではなくたくさんのが混ざっていて、テレビのバラエティに近い部分もあり、とつきやすいと思います。なので、舞台を観たことのない方にも観に来ていただくと嬉しいです。

## PRESENT

本特集でご紹介した「HUG!〜ステレオサウンズ」のチケットや、過去のパンダラコンチャ公演パンフレットなどをプレゼントします。

【申込方法】ご希望のプレゼント番号、住所・氏名・年齢・電話番号・e-mail等の連絡先、今号の「any」の感想をご記入の上、4月30日(月・休)までにハガキ(当日消印有効)・FAX・e-mailでご応募ください。

A 「HUG!〜ステレオサウンズ」公演チケット(ペア5組)

B 近藤芳正×南原清隆 サイン色紙(1名)

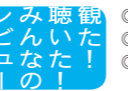
C パンダラコンチャ「相思双愛」パンフレット(1名)

D パンダラコンチャ「ちんけさんと大きな女たち」パンフレット(1名)

【あて先】〒753-0075 山口市中国町7-7 (公財)山口市文化振興財団 「any vol.80 特集プレゼント」係 FAX:083-901-2216 e-mail:any@yfcfc.or.jp ※当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。



◎かえるが人変わったとこがすごかった。(10歳未満 前進座 創作歌舞伎「髪飾不思議仕掛」より)  
◎教授のトークは面白いです! すぐ本を読んでいる人。(40代女性 ダイアログ&コンサート「2050年から見る環境と芸術の未来」より)  
◎母親に応援されてしまったら、ああいう詩は書けないと思います。不幸なことかもしれませんが、それはそれでよかったのでは? (20代男性 「中世の母・フク」より)  
◎前進座の皆さんの足先、指先、全身を使っている舞台は感動いっぱいでした。(60代女性 前進座 創作歌舞伎「髪飾不思議仕掛」より)



◎フクさんの生き方にひかれました。(60代女性 「中世の母・フク」より)  
◎公演会場への入り方もユニークで、楽しんで観ることができました。(男性 山下 残「庭みたいなもの」より)  
◎芸術というより、地球の歴史の授業を聞いているようで、とても興味深かった。音楽の定義を揺さぶられた。(20代男性 ダイアログ&コンサート「2050年から見る環境と芸術の未来」より)

# SUPER 恋しように ブラスにもっと ER BRASS スーパー・ブラス・ワールド

今回 any 編集部がお勧めするのは  
6月に山口市民会館で行われるブラス・コンサート。  
山口での演奏のために  
プロの楽団の演奏家たちによって新たに結成された  
「スーパー・ブラス・ワールド ウィンド・オーケストラ」の  
演奏と、指揮者・竹本泰蔵による解説を交えたトーク  
誰もが一度は耳にしたことのある名曲や  
心躍る楽曲の数々を楽しむことができます。  
このコンサートを聴けば、きっとブラスの魅力と  
音楽の楽しさに目覚め、夢中になれるはず!

any 編集部  
イチオシ企画!

## スーパー・ブラス・ワールド

2012年6月2日(土) 18:30開演  
会場:山口市民会館 大ホール

[チケット情報] 発売中  
[料金] 全席指定  
前売 S席 一般 4,500円 / 大学生以下 2,000円  
A席 一般 3,500円 / 大学生以下 1,500円

※any会員は一般価格より各500円引(1会員4枚まで)  
当日 S席 5,000円 / A席 4,000円

[曲目] 音楽祭のプレリュード、風紋、フェリスタス、  
全日本吹奏楽コンクール 本年の課題曲より、  
ディスコ・キッド、アフリカン・シンフォニー ほか  
※曲目は変更となることがございます。あらかじめご了承ください。

[出演] スーパー・ブラス・ワールド ウィンド・オーケストラ  
竹本泰蔵(指揮・お話)



指揮 竹本泰蔵 TAKEMOTO Taizo

1977年に開催されたカラヤン・コンクール・ジャパンでベルリン・フィルハーモニー管弦楽団(ベルリン・フィル)を指揮し、第2位に入賞。カラヤンに招かれて、翌年よりベルリン・フィルの演奏に参加するなどベルリンを中心に研鑽を積み、帰国後は、全国の主要オーケストラに客演し好評を博す。現在、オリジナルスコアによる映画音楽のコンサートや、ゲーム音楽コンサート等、今までにないミュージックシーンを展開する一方、ロックやポップスなどジャンルを超えたアーティストと競演、まさにマルチプルな活動で各界の熱い視線を集めている。

## 山口情報芸術センター(YCAM)

http://www.ycam.jp/

YCAM教育普及展覧会

### 「glitchGROUND(グリッチグラウンド)」

2012年5月19日(土)～8月12日(日) 10:00～19:00  
会場:ホワイエ、スタジオB

### 教育普及活動のこれまでと、 これからを紹介していく展覧会

これまでに展開してきたYCAMの教育普及事業を紹介する展覧会を開催。ホワイエでは過去に実施したオリジナルワークショップのコンセプトや活動の背景を、パネルなどを使って分かりやすく展示します。また、スタジオBには「不安定な床」「変化する照明」「ネットワーク環境」等を備えた「コロガル公園」という仮設の公園が出現します。来場する子どもたちは大人と一緒に、あるいは子どもたち同士で、その場を変化させたり、崩したり、また組み立てなおしたり、クリエイティブな感性を働かせながら楽しく遊ぶことができます。時間とともに変化する「あそび場=公園」。ぜひ何度も足を運んで、どのように変化していくのか、その過程もあわせてお楽しみください。



参考写真:YCAMオリジナルワークショップ「バスタ建築」の様子

#### わたしはココに注目する!

プレイベントとして、ゴールデンウィーク中にはいくつかのYCAMオリジナルワークショップと、ワークショップが誕生する現場について討論するシンポジウムを開催。オープニングイベントではゲスト講師を招いたレクチャー、また会期中にはギャラリーツアーなど、関連企画も盛りだくさん。たくさんの方のご参加をお待ちしています!

料金 | 無料

YCAM パフォーマンス・ラウンジ #6

### 高嶺格「いかに考えないか?」

2012年6月23日(土)、24日(日)、30日(土)、7月1日(日) 各日15:00～18:00

### 高嶺格「ジャパン・シンドローム～山口編」

2012年6月25日(月)～29日(金) 各日11:00～17:00 ※6/26(火)はお休み

会場:いずれも中央公園内特設テント

### 中央公園に特設テントが出現、中をのぞいてみると…!?



高嶺格「いかに考えないか?」  
(2010、セツ寺共同スタジオ・あいちりエンナーレ)

パフォーマンスやインスタレーション、舞台美術など、様々な表現方法で作品を発表するアーティスト高嶺格。パフォーマンス作品「いかに考えないか?」は、観客がタッチパネルを使ってスクリーン越しにパフォーマンスへ「お題」を出し、それに応える形で影絵パフォーマンスを行います。今回はYCAM前の中央公園に会場となる特設テントが出現。会場

への出入りは自由。決まった脚本や進行はなく、影絵を映す巨大なスクリーンの楽しい映像や、会場の音楽もパフォーマンスにあわせて即興的に作られます。一体どんなことが起こるのか!? またパフォーマンスのない日には同じテント内で、映像作品「ジャパン・シンドローム」の山口バージョンを上映します。

#### わたしはココに注目する!

「いかに考えないか?」「ジャパン・シンドローム～山口編」いずれの作品も、山口在住の人を公募し、若者から高齢者まで幅広い方たちに出演してもらいます。どこか山口らしさ(?)が伝わってくるかもしれませんね。

料金 | 「いかに考えないか?」 一日券 500円(当日券のみ) 未就学児入場無料  
「ジャパン・シンドローム～山口編」 無料

#### 観る聴く みんな の!

- ◎かなり頭を使って観終わった後、疲労感すらある感じだが、軽さがあるので観ていて心地良かったです。(20代女性 山下 残「庭みたいなもの」より)
- ◎静かにはじまり、動きは予想できず、目が離せない。中盤は恐ろしかった。(佐東利穂子[SH-E-彼女]より)
- ◎音楽、環境問題、興味深く聞きました。家で音楽やりたくなりました。(40代男性 ダイアログ&コンサート「2050年から見る環境と芸術の未来」より)
- ◎久しぶりにツケの音聞き、心沸き立つ気持ちになりました。(前進座 創作歌舞伎「髪飾不思議仕掛」より)

## mini PICK UP!

### sound tectonics #11

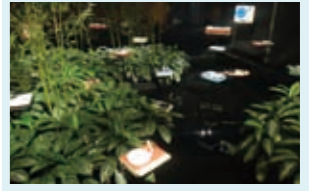
2012年5月27日(日)  
14:00開演  
会場:山口情報芸術センター  
スタジオA

新しい音響表現・聴覚体験を追究する国際的なアーティストを迎え、YCAMの持つハイクオリティなサウンドシステムを使って行われるライブシリーズ「sound tectonics」。今回は、国際アートフェスティバル「ドクメンタ」にも選出されるなど、音に対する独自のアプローチを試み続けるアーティスト・鈴木昭男を招き、ほかに優れたサウンドアーティストを複数組迎へ、世界トップクラスの音響設備・技術を誇るYCAMで、ハイクオリティな音響空間とライブパフォーマンスを開催します。

[チケット情報] 4月7日(土)～  
[料金] オールスタンディング  
前売 一般 2,000円  
any会員・特別割引 1,500円  
25歳以下 1,300円  
当日 2,500円  
[出演] 鈴木昭男、evala ほか

## 旅するYCAM

### 大友良英+青山泰知 「without records」 in 韓国



ニューヨークでの展示の様子(2011年) photo: 大友良英

加工された古いポータブルプレイヤーから聴こえてくる摩擦音やノイズがアンサンブルを生み出すインスタレーション作品「without records」。2008年のYCAMでの公開後、東京、水戸、ニューヨークを経て、次に目指す旅の地は韓国・龍仁市のナム・ジュン・バイク・アートセンター。本作のアーティスト・大友良英さんは作品について、様々な場所を巡回することで「よりカジュアルに、身軽にいろんなところに行くことができ、かつ他の展示に入り込むことも可能なフレキシブルなものになってきている」と語ります。今回は他のアーティストも参加するグループ展ということもあり、音ももっと大胆なつくりしようと考えているのだとか。一体どんな展示になるのか!? ぜひ韓国で確かめて! 公開は7月1日まで。

## 中原中也記念館

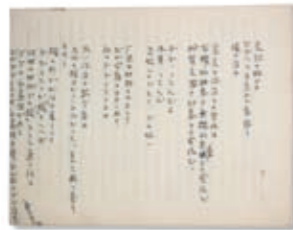
http://www.chuyakan.jp/

企画展I

### 「高橋新吉—ダダイズムと関東大震災」

2012年4月18日(水)～8月26日(日)

### 中也と高橋新吉、ダダイズム、その関係をつなぐ関東大震災



〔名詞の扱ひに〕〔ノート1924より〕

1923(大正12)年9月1日、M7.9を記録する大地震が関東地方とその周辺を襲いました。「関東大震災」です。この震災は文芸界にも大きな影響を

術に人々の関心を向かわせるきっかけとなりました。同じ年の秋の暮、立命館中学校3年生として京都に住んでいた16歳の中也は、高橋新吉の詩集『ダダイスト新吉の詩』と出会います。中也はこの詩集に強く惹かれ、自分でも高橋をまねてダダの詩を書き始めます。本展では、中也・高橋・ダダイズムの結節点である、関東大震災前後の時期を中心に、三者の関わりとそれぞれの展開を紹介します。

#### わたしはココに注目する!

関東大震災という大災害から生まれた言葉、当時の人々が強く共感した言葉。それらが東日本大震災後の今を生きる私たちにどのように響いてくるか。ぜひ展示で体感してください。

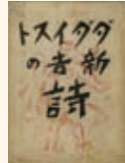
及ぼしました。当時活躍していた文学者たちの多くが被災しましたが、その実体験を表現につなげ、震災記・震災詩集としていち早く世に送り出されました。また、その非日常的な経験が、ダダイズム・表現派などの前衛芸

入館料 一般 310円(262円) / 大学生 210円(157円) / 小中高校生 150円(105円)

※70才以上は無料 ※( )内は20人以上団体料金 ※あわせて常設テーマ展示もご覧いただけます。

## 検定 中也

これであなたも中也通!



『ダダイスト新吉の詩』表紙

1927(昭和2)年9月に中也は初めて高橋新吉に手紙を出し、同年10月には高橋を訪問、そこから2人の交友が始まります。中也の書いた高橋新吉宛書簡は全て震災で焼失してしまいましたが、残念ながら現在は残っていません。しかし唯一、中也が高橋に初めて出した書簡(1927年9月15日付)の内容が分かっています。それは中也の没後、雑誌『赤門文学』(1943年4・5月合併号)に掲載されたためです。さて、中也はその手紙にあるものを同封していました。それは一体何でしょうか?

- 1 高橋を論じた論文
- 2 自作のダダイズム詩
- 3 次の高橋の詩集の予約票

答えは14ページ

### 【受賞者コメント】

#### 暁方ミセイ

AKEGATA Misei



いまはまだ実感もあまりなく、ただ不思議な、幸福な気持ちでいっぱい。大学2年生のときに、詩を本当にやっていたと決心しました。本詩集は、それから書き続けてきた歳月の末に生まれた、通過点のような詩集です。わたしの詩を読んでくださるすべての方に感謝いたします。詩を書くことは、これまで、わたしにとっていつも苦しみであり、また喜びであり続けました。ここに留まることなく、中也のように、駆け抜けていきたいです。

1988年生まれ、神奈川県在住。大学在学中の2010年に第48回現代詩手帖賞を受賞。初の詩集『ウィルスちゃん』(思潮社)が第17回中原中也賞を受賞。公募と推薦の計171点の中から詩人の北川透、佐々木幹郎、作家の高橋源一郎ら6人の選考委員の講場一致で受賞が決定する。

「からあるくみち」(『ウィルスちゃん』所収)より抜粋

永遠には誰も住んでいなかったの道を引き返す。  
はるかなと  
書き留めて風が渡る  
明くる何もない野辺をゆく、  
風来坊であること。  
ただこれっきりの肺、  
ストレンジャーであること。



## 第17回 中原中也賞

### 観覧券

- 身体とは何と素晴らしいものかと改めて知らされました。(60代女性 佐東利穂子「SHE - 彼女」より)
- ステージが逆なのが斬新でした。(20代女性 タイアローグ&コンサート「2050年から見る環境と芸術の未来」より)
- 手ぬぐいがとれなくて残念でした。(10歳未満女性 前進座 創作歌舞伎「髪飾不思議仕掛」より)
- 自分のコトバ、他人(モノ)の体験の乖離がおもしろかったです。(20代女性 山下 残「庭みたいなもの」より)

## 山口市民会館

http://www.c-able.ne.jp/~shiminkk/

デビュー 35周年記念

### 松山千春コンサート・ツアー 2012「松山千春の世界」

2012年4月27日(金) 18:30開演

会場:大ホール

### 松山千春、 山口の大地に歌を届ける

今年、歌手活動35周年を迎えた松山千春。1977年「旅立ち／初恋」でデビュー以後も「季節の中で」「大空と大地の中で」「恋」「人生の空から」「長い夜」「君を忘れない」など、様々なヒット曲を生み出し、抜群の歌唱力で多くの聴衆を魅了し続けています。ときに辛口な面もみせつつも、愛情にあふれた口調で語るそのトークはいつも笑いを誘い、場を和ませます。そんな松山千春による、しっとりとした大人の時間を体験できるコンサートを山口で開催。大地にしっかりと根付いた力強い言葉と歌声を、あなたに届けます。



#### わたしはココに注目する!

テレビなどでおなじみの歯に衣着せぬ辛口でウィットに富んだトークはもちろんコンサートのMCでも炸裂。心広い温かい人柄も感じさせてくれる彼の語り口と力強い言葉の一つ一つが、その心ふるえる歌の数々とともに、胸に残ることでしょう。

チケット情報 一般発売 4月1日(日)～  
料金 全席指定  
前売 一般 7,875円 any会員 7,500円  
※3歳以上有料

### AYAKA HIRAHARA Concert Tour 2012 ～ドキッ!～

2012年7月13日(金) 18:30開演

会場:大ホール

### あなたの心に響く歌声を

2003年、「Jupiter」でデビュー後、日本レコード大賞新人賞(2004)や、日本ゴールドディスク大賞特別賞(2005)をはじめ、様々な賞を獲得するなど目覚ましい活躍をみせる平原綾香。次々にヒットを生み出し、最近では、NHK朝の連続ドラマ「おひさま」の主題テーマ曲を担当したことでさらに話題を集めています。コンサートでは、平原綾香がもつ個性豊かな、聴く者の心をつかんでほさない歌声と、多彩な表現力によって、アーティストとしての才知と魅力を存分に感じることができます。どうぞお聴き逃しなく!

#### わたしはココに注目する!

平原綾香さんといえば、独特の声と歌い方に特徴がありますよね。聴く者の心をそっとときほぐしてくれるそんな歌声をぜひこの機会に山口市民会館で体感ください。感動と癒しの時間があなたを包み込むはず!

チケット情報 発売中  
料金 全席指定  
前売 一般 6,500円 any会員 6,000円

#### 平原綾香さんからのメッセージ

感動のドキッ! 新しい発見にドキッ! 楽しくてドキッ! そして… 久しぶりの山口に「ドキッ!」来てくださったお客様、そして音楽を届ける私たち自身もドキドキワクワクするようなステージをお届けします! 7月13日は、みんなで一緒にドキッ!としましょう!

- 特に記載のない場合、any会員割引は1会員2枚まで。
- いずれの公演も当日券は各種割引の対象外となります。
- 特に記載のない場合、開場は開演の30分前です。
- 特に記載のない場合、未就学児入場不可。託児サービスについては、お問い合わせください。

## mini PICK UP!



### 葉加瀬太郎 クラシックシアターII

2012年5月9日(水)

18:30開演

会場:山口市民会館 大ホール

セリーヌ・ディオンとの共演で一躍、世界的存在となったヴァイオリニスト・葉加瀬太郎。TBS系ドキュメンタリー番組「情熱大陸」のテーマ曲を手掛けるなど、音楽家として、またプロデューサーとして、世代を超え多くの人々を魅了しています。国境やジャンルを越えた、オリジナルティ溢れる独自の音楽世界と卓越した演奏、笑いを誘うトークや演出など、完成度の高いライブパフォーマンスをどうぞ楽しみください。

[チケット情報] 発売中  
[料金] 全席指定 ※3歳以上有料  
前売 一般 6,800円  
any会員 6,500円  
当日 7,300円

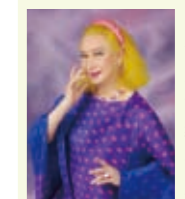
先行チケット  
発売情報  
早チケ  
any会員  
先行予約  
4月7日

### 美輪明宏 音楽会〈愛〉

2012年8月25日(土)

18:30開演(17:45開場)

会場:山口市民会館 大ホール



1957年、「メケメケ」が大ヒット、またその個性的なファッションと美貌とで衝撃を与えつつ、日本におけるシンガーソングライターの元祖として「ヨイトマケの唄」ほか、多数の歌を作ってきた美輪明宏。「音楽会〈愛〉」では、クラシック、シャンソン、ジャズ、小学唱歌、歌謡曲などジャンルを超えた選曲によって、様々な音楽の世界を一度に味わうことができます。魅惑的なステージとトーク、そして幅広い音楽の世界をお楽しみください。

[チケット発売]  
any会員先行予約 4月7日(土)～  
一般発売 4月21日(土)～  
[料金] 全席指定  
前売 一般 6,800円  
any会員 6,300円  
当日 7,300円

# any通信

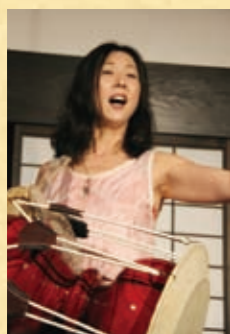
季節が移り変わる  
この時期恒例の中也生誕祭。  
また今年もにぎやかに  
初夏を彩ります。



## 詩と音楽で祝う中也の誕生日

4月29日は、中也の誕生日。詩の朗読を好んだ中也にならない、中也記念館前庭では毎年、「空の下の朗読会」を行っています。2部構成で、第1部は自由参加の朗読会。お気に入りの詩・自作の詩など、好きな詩を選び、ご参加ください。また、第2部はゲストのコンサートで、歌手の李政美さんが登場します。李さんは、国立音楽大学在学中に活動を始められ、

ドラマ・映画の挿入歌等を手がけたかわら、様々なミュージシャンとの共演・ソロライブ等を通じて活躍されています。当日は、ピアノ・バイオリンの演奏にあわせ



李政美

て、中也の詩に李さんが曲をつけた「湖上」などを歌っていただきます。また、同日夕方からは、別会場で中也賞の贈呈式や記念講演も行われます。是非、こちらもご参加ください。

### 中原中也生誕祭「空の下の朗読会」

2012年4月29日(日・祝)

13:00~15:00 (詩の朗読希望者は12:30より受付)

会場: 中原中也記念館 前庭

(雨天の場合、ホテル松政)

[ゲスト] 李政美(歌手)

[料金] 無料(当日は、記念館への入館料も無料)

### 「第17回中原中也賞贈呈式&記念講演」

2012年4月29日(日・祝)

16:20~17:00 「贈呈式」

17:20~18:20 記念講演

「中也がガンであったなら」(村田喜代子/作家)

会場: ホテル松政

[料金] 無料

## 坂本龍一さんが来館されました。

坂本龍一さん出演のダイアログ&コンサート「2050年から見る環境と芸術の未来」が昨年12月に行われ、400人以上のお客様が参加。大盛況のうちに幕を閉じました。このイベントの様子はインターネットでも中継され、合計6418人が視聴。坂本さんのメッセージが全世界へと発信されました。今後も来年の開館10周年へ向けてイベントが開催される予定です。ますますYCAMから目が離せません!



©TAG/TRAUM 2010

## 「ピナ・パウシュ 夢の教室」

(2010年/ドイツ/89分/カラー/デジタル上映)

[監督] アン・リンセル [出演] ピナ・パウシュ、ベネディクト・ピリエ、ジョセフィン・エンディコット

本作との出会いは、配給もやっている東京の某映画館の方との電話だった。その頃、もっぱら話題だったヴィム・ヴェンダース監督の映画作品「Pina」のことを話していたところ、先方は「ピナ・パウシュの『コンタクトホーフ』(1978年に発表された当初から、「ダンスの概念を超えた」と高い評価を受けているピナの代表作の一つ)を10代の子達が踊るドキュメンタリーがあって、それが凄いいんですよ〜!」と語った。ちょうど、YCAMでは「映像で観る世界のダンス」というシリーズでピナ・パウシュを紹介したばかり。強く興味を持ったまま数ヶ月が過ぎた頃、ついに本作を観賞する機会に恵まれ、その言葉が嘘でないことを知る。両親のこと、友達のこと、自分の好きなこと、恋のこと、自身の問題など、プライベートや自身の想いを語っていく彼らはどこにでもいる少年少

女。初めてのダンス経験に戸惑いながらも指導を受けていく彼らは、この偉大なピナのことは実はあまりよく知らなかったりするのだが、ピナが登場するとそのオーラに当然の如く魅了される! 実際に「コンタクトホーフ」を踊ったダンサー達の指導のもと、心身ともに成長していく彼らがとても眩しい! この体験は彼らの人生をきっと変えただろう、そして、きっと彼らはそれぞれの夢を叶えるだろう、そう思った。

松富淑香 (YCAM シネマ担当)

2012年4月28日(土) 15:30~  
29日(日・祝) 13:30~  
30日(月・休) 15:30~

会場: 山口情報芸術センター スタジオC

[料金] 一般 1,300円  
any会員・特別割引・25歳以下 800円



©TAG/TRAUM 2010

### 「ピナ・パウシュ 夢の教室」作品紹介

ダンス経験のない40人のティーンエイジャーがピナ・パウシュの代表作「コンタクトホーフ」の舞台に立つために集まった。ヴッパータール舞踏団で活躍したダンサー、ヴェネディクトとジョーによる猛特訓の中、様々な環境で育った彼らはそれぞれにどんな想いでこの舞台に挑むのか? そして、どんな成長を遂げるのか? 生前のピナ・パウシュの指導風景も収めた感動のドキュメンタリー。

## My Favorite

会館の敷地内にある中庭です。昼間は子どもからお年寄り、そしてカラスマで、幅広く親しまれている憩いの場ですが、夜間に公演がある時は、ライトアップして景観を演出しています。公演が終了してお帰りになるお客様の足元を明るくすると同時に、楽しい思い出に花を添える役割も果たしており、昼間とは違った趣があります。 西村真治 (山口市民会館 職員)



西村真治

# ARTIST VOICE

アーティスト  
ボイス

藤 (役者)

2011年に創立80周年を迎えた劇団「前進座」。毎年、全国各地を回り、様々なお芝居を届けるなか、昨年12月には子どものための創作歌舞伎「髪飾不思議仕掛」を山口で上演。多くの来場者にとって心に残る作品になったようです。前進座の看板役者・藤川矢之輔さんにお聞きします。山口はどこなところでしたか?

## 久しぶりの山口公演、とてもいい思い出に。



港から帰京しましたから、山口の良さを感じるといってもよかったのですが、接した方はどなたも暖かく、とてもいい思い出になりました。鑑真和上のお芝居の下関公演で毎月2~3度下関や山口へ伺ったおりに感じたことで、山口の方に好印象を持たれたことはとても素敵なことだと思います。今の世の中、絆が求められています、求めることも努力することでもない、当然なくてはならないもの、自然と「あるべき」ものなのです。きっと山口の歴史や風土、山口の方々の生き立ちや意識の表れがその好印象の源だと思います。またいつの日か訪れることを楽しみに、そして素晴らしい出会いを期待しています。

港から帰京しましたから、山口の良さを感じるといってもよかったのですが、接した方はどなたも暖かく、とてもいい思い出になりました。鑑真和上のお芝居の下関公演で毎月2~3度下関や山口へ伺ったおりに感じたことで、山口の方に好印象を持たれたことはとても素敵なことだと思います。今の世の中、絆が求められています、求めることも努力することでもない、当然なくてはならないもの、自然と「あるべき」ものなのです。きっと山口の歴史や風土、山口の方々の生き立ちや意識の表れがその好印象の源だと思います。またいつの日か訪れることを楽しみに、そして素晴らしい出会いを期待しています。

## 前作舞「思仕」

2011年12月18日  
会場: 山口 会館 大ホール



歌舞伎十八番のひとつ「毛抜」をもとに、新しい仕掛けや演出、脚本によって新作として誕生。髪の毛が逆立つという奇妙な病気にかかったお姫様と、病気に便乗して国をのっとりたくらむ家来、お姫様をなんとか助けようと奮闘する侍が登場し、スリリングに物語が展開していく。上演前には、歌舞伎の特徴や現代劇との違い、歌舞伎ならではの動きや音楽、楽器の特徴を分かりやすく紹介するレクチャーも開催。歌舞伎の魅力も存分に味わえる舞台公演となった。

### 藤川矢之輔 FUJIKAWA Yanosuke

1951年東京都生まれ。劇団前進座俳優。初舞台は4歳のとき、俳優座劇場での「花ざかり」の子役をつとめる。子役の時から全国を駆け巡り様々な役を経験。NHK銀河ドラマ「おおいづ」、「遠山の金さん」鮎屋の虎吉などに本名「今村民路」で出演。「髪飾不思議仕掛」では、大坂屋八雨の名前で台本を手掛け、山口公演では役者として悪役家老「朝倉勘解由」を好演。

## いらっしませ



ミニシフォンケーキ  
(抹茶&プレーン)

350円

### しっとりふわふわシフォンを召し上がれ

本誌71号でも登場したカトルセゾンさんに再び訪問。さてさて、今日は何にしようかなあ。ミニシフォンケーキは独りでも食べやすいサイズ、しかも抹茶とプレーンが半分ずつ入っているこれにします!一口食べると予想どおりどちらもふわふわ、しっとり、そしてこの軽さがたまりません。今回初めて食べる抹茶味は、しっかりと抹茶の風味が口の中を駆けぬけます。ゆっくり味わいながらも口の中であっという間になくなっちゃう。普通のサイズでも食べられたかもな〜、なんて。陽気で明るいお兄さんが元気に出迎えてくれて、ご近所さんに大人気のこのお店。時々、YCAMにいられた県外のお客様も訪れるのだとか。ごちそうさまでした!

### ラ・レーヌ・デ・カトルセゾン

山口市中央5-15-32 TEL.083-932-8822

営業時間: 10:00~19:00 月曜休み(祝日は除く)

※3,000円以上のお買い物をするとき焼き菓子プレゼント

## GOOD GOODS

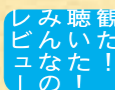


中原中也記念館オリジナルグッズ  
ノート「小年時」

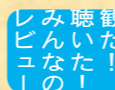
### 中也とおそろいのノート、何書く?

中原中也が昭和3~5年にかけて使用していた創作ノートをもとに、記念館オリジナルグッズとして誕生したノート「小年時」。名前の由来である自筆の表題と使い込んだ風合いが見事に復刻され、裏には「中原」の印も押されています。表紙をめくるとそこには、中也が実際にこのノートに書き留めた詩「湖上」が! この横書き用の大学ノートを縦書きに使用して16編の詩を書き残したという中也。筆跡からも言葉に込めた熱い思いが伝わります。そんな中也に思いを馳せながら、あなた自身の手で空白のページを埋めていってはいかがでしょう?

価格: 500円(税込) A5変形/横罫



●他人に何を言われようと、自分と「詩」のためにひたむきに生きた彼の生涯を、湯田温泉の光景と写真でみるのは、なかなか興味深かった。(20代女性 「これが私の故里だ」より)  
●お姫様の役を男の人がやるのは、とてもすごいです。(10歳未満女性 前進座 創作歌舞伎「髪飾不思議仕掛」より)  
●客席と舞台が同じ目線で、ダンサーと一体になって、良かったです。(女性 佐東利穂子「SHE-彼女」より)



●単一な音、爪弾く弦の音、もっと聴きたいと思った。(40代男性 ダイアログ&コンサート「2050年から見る環境と芸術の未来」より)  
●ダンス?演劇?よく分からないけどいつもワクワク刺激が得られる作品に出会えるのは楽しいですね。(50代女性 山下 残「庭みたいなもの」より)  
●目力すごかった!! 女形の身のこなしも素晴らしい!(40代女性 前進座 創作歌舞伎「髪飾不思議仕掛」より)  
●中也だけではなく、昔の山口の雰囲気も味わえたので良かったです。(30代女性 「これが私の故里だ」より)

### 4 April

### 5 May

### 6 June

掲載内容は2012年3月1日現在のものです。変更の場合がありますので、ご了承ください。

<b>山口情報芸術センター (YCAM)</b> <a href="http://www.ycam.jp/">http://www.ycam.jp/</a>	<b>アート</b> 19 YCAM教育普及展覧会「glitchGROUND」(本誌P9参照) ※プライベート、オープニングイベントあり	<b>ライブ</b> 27 sound tectonics #11(本誌P9参照)	<b>シアター</b> 16 バンダラコンチャ サードアルバム公演「HUG! ~ステレオサウンド」(本誌P3~7参照) 23 YCAMパフォーマンス・ラウンジ #6 高嶺格「いかに考えないか?」+「ジャパン・シンドローム」(本誌P9参照)	<b>シネマ</b> 6 8 ルキーノ・ヴィスコンティ監督特集 13 15 20 22 「女と銃と荒野の麺屋」 28 30 「ピナ・バウシュ 夢の教室」(本誌P13参照)「今日と明日の間で」 3 6 特集「映画から原発とエネルギーを考える」「プリピャチ」「アンダー・コントロール」ほか 11 13 「さすらいの女神たち」 18 20 Select CINE TECTONICS=17 ジョン・フォード監督特集 ※5/26 関連トークイベントあり 25 27 「エル・プリの秘密 世界一予約のとれないレストラン」 22 24 「CUT」
<b>山口市民会館</b> <a href="http://www.c-able.ne.jp/~shiminkk/">http://www.c-able.ne.jp/~shiminkk/</a>	27 松山千春 コンサート・ツアー 2012 (本誌P11参照) 9 葉加瀬太郎 クラシックシアターII (本誌P11参照)	15 TEAM NACS ニッポン公演「WARRIOR〜唄い続ける侍ロマン」	2 スーパー・プラス・ワールド(本誌P8参照)	
<b>中原中也記念館</b> <a href="http://www.chuyakan.jp/">http://www.chuyakan.jp/</a>	<b>開催中</b> 15 企画展II 「中也の母・フク」 18 企画展I 「高橋新吉 ―ダダイズムと関東大震災」(本誌P10参照)	<b>開催中</b> 第9回常設テーマ展示「『在りし日の歌』まで」 27 29 中原中也を読む会 「空の下の朗読会」(本誌P12参照) 25 22 中原中也を読む会 会場:山口情報芸術センター		

[マーク説明] 体験する 参加する 聴く 観る

## INFORMATION

### ■公演チケットのお求めについて

山口市文化振興財団が主催・共催する公演チケットは以下の方法にてご予約・ご購入ください。

#### 予約方法

**インターネット** 山口市文化振興財団ホームページ (要事前登録・24時間受付)

<http://www.ycfcp.or.jp/>

※any会員の方は先行予約初日の10:00より、一般の方はプレイガイド発売日の10:00より受付開始。



#### 電話

チケットインフォメーション (10:00~19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)

**TEL. 083-920-6111**

#### 窓口

チケットインフォメーション (10:00~19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)

### 山口情報芸術センター

※先行予約初日はインターネットまたはお電話のみの受付となり、窓口のご利用は翌日からとなります。

#### 支払方法

**クレジットカード** インターネット・電話でチケット予約された際に利用いただけます。

チケットのお受け取りはお近くのセブンイレブンまたは山口情報芸術センターにお越しください。

#### セブンイレブン

インターネット・電話でチケット予約された際に利用いただけます。

お近くのセブンイレブンでお支払いいただけます。チケットはその場でお受け取りください。

#### 窓口

※上記予約方法「窓口」参照

### ■託児サービスについて

山口市文化振興財団では託児サービスを行っています。

※おもちゃ、おむつ、着替え等必要なものはご持参ください。お子様の食事は事前に済ませておいてください。

#### 公演開催時

【対象】0才(6ヶ月)以上

【料金】1人につき500円、2人目以降は1人につき300円

【時間】開演の30分前から終演後30分まで

【申込方法】公演日の1週間前までに左記チケットインフォメーションまたは山口情報芸術センターにてお申し込みください。

※公演によっては行わない場合もございます。事前にお問い合わせください。

#### 山口情報芸術センター キッズスペース

【対象】1才以上

【料金】1人につき30分150円

【時間】13:00~17:00 1回2時間まで (山口市立中央図書館休館日を除く)

【申込方法】当日、山口情報芸術センターにてお申し込みください。満員の際は順番制となります。

### any 会員募集!

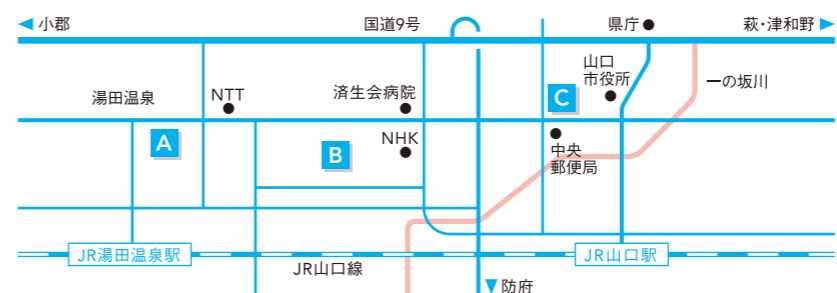
※入会方法等、詳しくはお問い合わせください。

any会員は、山口情報芸術センターや山口市民会館などで行われる財団主催・共催の公演や展示、ワークショップ等の情報をいち早くお知らせし、楽しんでいただくための友の会です。公演のチケットが一般の方よりも安く、早く購入できるなどの特典があります。

【年会費】1,500円+入会金500円 ※会員期間内に更新される場合、入会金は不要です。

【会員期間】入会日から翌年の入会月末まで

【会員特典】チケットの先行予約および割引購入(公演によっては適用されないものもあります)、情報誌の無料送付、YCAMシネマ・中原中也記念館招待券プレゼントなど



公益財団法人

**山口市文化振興財団**

〒753-0075 山口市中園町7-7(山口情報芸術センター内)  
 TEL. 083-901-2222 / FAX. 083-901-2216  
<http://www.ycfcp.or.jp/> zaidan-info@ycfcp.or.jp

### 編集後記

気が付けばanyも本誌で80号目。1年に4冊出るので、メモリアルの100号にはまだあと5年かかるなあと計算して、ふと「5年後の自分を想像してみる…。うーん、とくに変わっていない気がするぞ。なぜなら、5年前の私から変化も成長もないもので…。[M.D] 初めて胃カメラ検診を受けました。麻酔をかけて直径5ミリのカメラを鼻から挿入。自分の内臓が見られるなんて不思議な体験ですね。結果は異常なし、良かった!これで新年度ががんばれそうです。[T]

#### A 中原中也記念館

〒753-0056 山口市湯田温泉1-11-21  
 TEL. 083-932-6430 / FAX. 083-932-6431  
 [開館時間] 9:00~18:00(入館は17:30まで) [5~10月] 9:00~17:00(入館は16:30まで) [11~4月]  
 [休館日] 月曜(祝祭日の場合は翌日)、毎月最終火曜(変更あり)、年末年始  
<http://www.chuyakan.jp/> chuyakan@c-able.ne.jp

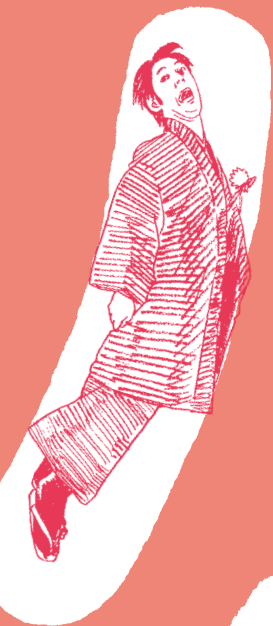
#### B 山口情報芸術センター(YCAM)

〒753-0075 山口市中園町7-7  
 TEL. 083-901-2222 / FAX. 083-901-2216  
 [開館時間] 10:00~20:00(夜間イベントのある日は22:00まで)  
 [休館日] 火曜(祝祭日の場合は翌日)、年末年始  
<http://www.ycam.jp/> information@ycam.jp

#### C 山口市民会館

〒753-0074 山口市中央2-5-1  
 TEL. 083-923-1000 / FAX. 083-928-8488  
 [開館時間] 8:30~17:15 [休館日] 年末年始  
<http://www.c-able.ne.jp/~shiminkk/> shiminkk@c-able.ne.jp





公益財団法人  
山口市文化振興財団  
Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion

